

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（令和7年度第1回）

日 時：令和7年7月17日（木）13:00～16:00

場 所：総社高等学校 応接室 （欠席1名）

1 開会

2 報告・協議

（1）今年度の合同研修会について（第1～2回振り返り、第3回に向けて）

【全体】◆名称

・名称についてのアンケートは任意回答であったため、意見自体、少なかった。「提案通りでよい」は6人。

・その他、もう少しシンプルな名称にできたらいいという意見をいただいたが、設立時の理念を鑑み、「岡山県高等」を取る変更には留める。この形で決定とし第3回合同研修会で報告する。

◆サポート校交流

・アンケートまとめ⑥（20）に、理由があってサポートしないことを選択している司書が、サポート校交流の時間に居づらくないような運営をしてほしいとの声があった。また、委員からは、サポート校はあくまで任意の制度であるため、合同研修会（正式な業務）の中で時間を取って交流してもよいのかという声も出た。

※学校図書館部会総会では、ネット研の仕事の一部として紹介しているが、それはいいのか？

・対応として、今後は「情報交換会」等に名称に変え、持ち方も変更する。年度初回はサポート校同士での交流が必要だが、2回目以降は、サポート校で組み合わせず広くグループを混ぜて交流し、名称も中身もサポート校交流でなく「情報交換会」にするという案が出た。この案の場合、第1回についてはサポート校グループが基本となるため、今後もさらなる検討が必要となる。

・今年度第3回については、備前支部がランチミーティングを計画しており、そこでサポート校交流も兼ねて任意で交流をする。午後の合同研修会では、サポート校交流の時間は取らない。ランチミーティングには、備中・美作の希望者も参加可能。担当は備前支部第3班。会場は倉敷商業高校大講義室。当日は、ネット研から駐車場係として3名が立つ。

・私学の場合、使っているシステムが県と違うので、サポートする際に戸惑うという声があった。

◆合同研修会での各校持ち寄りの配付資料

・アンケート（同上）に、各校持ち寄りの配布資料が少ない、かつ、他支部のものを持ち帰れる配慮がないとの指摘があった。対応を考えたいが、校内で印刷をしていない学校も多くなっているため（紙の使用を抑えるよう言われている）強制は難しい。ネット上に格納するスペースを作ってそこにデータを入れるようにするとの案も出たが、書影があるものをネット上に保存して大丈夫なのかが心配であるとの声もあった（PWを設定するとしても）。

・代替案として、「ブックログでおすすめの本はチェックできる」「LibFinderを見られるように基本情報アンケートにID/PWを掲載してくれている学校もあるので、それを見る」等の案が出た。引き続き検討が必要。

【初任者研修（研修 A）】

◆担当班より

- ・実施報告と、アンケート結果の説明があった。アンケートでは、県立図書館の講義が特に好評だった（具体例の多さが好評）。また今年度は初任者が少なかった。
- ・ R 8 も対面開催をしたい、備中支部からも班員を 1 名選出してほしい、との希望あり。→ R 8 も対面開催の予定、備中支部の班員については（5）へ。
- ・ R 8 は初任研が 1 回のみであるため、1 回目を受けた後のフォローが心配との声があった。→ R 8 は、回数が増えた支部研修や c h a t グループを活用して、手厚い支援ができるように取り組んでみる。

◆その他

- ・ 1 回より 2 回のほうが手厚いのは確かだが、研修担当の負担との兼ね合いをどうしていくか？ また「大変」かどうかは、どこまでやるかによっても変わってくる。
- ・ 以前は、各支部が交代で初任研を担当していたが、あのかのマニュアルはどこへ行ったのか？ うまく活用すれば、あまり負担にならない形で複数回できるのではないかと、という意見あり。

【合同研修（研修 B）】

◆担当班より

- ・ 7/3 の報告と 12/4 の予定について説明があった。12/4 は、7/3 の講演を踏まえて各校で取り組んだ「生徒と一緒に作る図書館活動」を持ち寄る研修とする予定。
- ・ R 8 の研修案については、R 8 合同研修会（案）に沿った研修内容を検討中。講師を招く場合は、開催時期が変更になる可能性もある。
- ・ 合同研修については、もともと引き継ぎ書が無かった。担当者がそのときの全体の声を聞きながらいろいろな形でやってきた。本日配付（昨年度も配付している）の「研修会開催マニュアル」が引継ぎ書となるが、研修の形は毎年変わるため、参考程度に使い、原則、改変作業は行わない。「研修会開催マニュアル」は司書部会のドライブに入れている。
- ・ 次年度の担当者変更の際には、班内で研修 B に残る人が出るよう、研修企画内で話し合う。研修企画班内で「初任研担当者は次年度以降の担当者変更の際には研修 B を担当する」流れを作っているが、これについてもそのときの班員で相談しながら決定する。ただし、研修企画班は多くの司書が関わるために入れ替りを多くするようにと昨年度のネット研で話し合われているので、その旨を引き継いでいく。

◆その他

- ・ オンラインでの研修会についての可能性についても話が出た。3 支部が各会場（3 つ）に分かれて集まり、一部の講座あるいは講演のみを一緒にオンラインにて受講、その後は各支部ごとに対面で研修をする、という方法が取れないか？
→ 県立図書館が共同主催の場合は、有料版 ZOOM の利用が可能。学校を会場とする場合は、S L A の大会と同様に 1 か月契約をすれば有料 ZOOM が使えるのではないかと。大規模だと（15,000 円程度）必要だが、100 人まで対応のプロ（月額請求 2,549 円＋消費税）で計画できるのではないかと。 ※<https://zoom.us/ja/pricing>

※利用料は各支部で分担。その場合、ネット研は会計を持っていないので各支部から徴収することになる。領収書印は委員長個人印となるため、正式なものとは言えず、金銭管理が厳しくなる時勢のなか、いつまでもこの方法でいけるかは疑問。

→日程調整が難しいのではないかと。しかし、各自、自校にてオンライン講演を聞いてください、とした場合、司書全員が自校でオンライン視聴が可能かは不明。録画して見られるようにする方法も考えられるが、研修班の負担がさらに増大する。

(2) で一れーBOOKS について

◆担当班より

- ・今後の予定のほか、ポスター等のデザイン担当校（岡山商科大学附属高校）について説明があった。
- ・Illustrator を使ったデザインであるため、コメントや書影は、担当から商科大附属高校の先生へ随時お渡しして、流し込んでもらうことになった。
- ・公共図書館へのノミネート本の連絡については、文書が信書（郵便物）に該当するため搬送便での送付ができない。そこで、文書をチラシに変えることとする。昨年度は中央館にのみメール送信したが、今年度は全地区館への配布に戻す。
- ・今後、ML 等でエントリーの声掛けをしていく予定。
- ・ノミネート本の内覧会を 12/4 の合同研修会で実施する。→ 会場はランチミーティング会場とすることとなった。倉敷商業高校への確認は委員長が行う。（回答あり。使用可能。）
- ・で一れーBOOKS への教員の参加について、高教研学校図書館代表役員会と総会にて質問があった。メリットデメリットを検討したうえで、来年度より参加を可能とすることにした。ただし、ノミネート本 5 冊を必ずすべて読んでから投票してもらうという条件を明示する。→ 委員全員賛成。→ 第 3 回司書部会で全体へ周知。R8 年度より実施。

(3) 学校図書館システムについて (無し)

(4) 来年度の合同研修会について

- ・合同研修で学びたいことを尋ねたアンケートの回答を見ると、基礎的・実践的なことをやりたい方、ある程度発展的なことをやりたい方というように、希望が二極化しているように思う。
- ・以前は研修の時間が長く取れたので、易しい内容と発展的な内容を混ぜて構成することもできたが、今は難しくなっている。
- ・どんな内容にしても、全員が満足のいくものを企画することは難しい。たとえば、支部研修では基礎的なこと中心にして、合同研修では発展的な内容にする等で、なんとか両方の希望を叶えられないか。そうする場合、4 月の最初の段階で、「支部では基礎、合同では発展（あるいは第 1 回合同では基礎、第 2 回合同では発展）的な内容で実施します」と全体像をお知らせしておくとういのではないかと。 ※レベルの認識は人によって違うので難しいが、基礎的すぎる内容やあまりに発展的な内容は避ける。
- ・研修の意義について、話し合いたいという希望が常に出ているので、対応が必要ではないかと。
→ 話し合ったとしても、人によって思いが違うので、意見を出し合うことはできても、まとまらないように思う。

→ 学校司書は一人職場なので情報交換は不可欠だが、それだけでは研修会としては成り立たない。たとえば管理職から見ても「きちんとした研修をしている」と思われるような内容であることは必要。

・初任研は県でやるべき、教育センターで開催されていた司書研修を復活させてほしいというSLAからの訴えはどうなったのか？

(5) 3支部司書部会全体に関わる事柄について

◆役割分担

・県SLA司書部会長が前倒しで備中に来る可能性があり、来年度の役割分担が例年以上に苦しくなることが予想される。司書部会長と合わせて、倉敷大会の前年からは副実行委員長と実行委員を出す必要があり、事務局校3校(＋支部事務局校で全4校)はそういった役に入れない可能性がある。他支部に迷惑をかけるのは申し訳ないが、兼務が当たり前という支部の状態は改善していきたい。

(6) 学校図書館活用教育研究委員会より

◆委員会より

・7/4に第1回委員会を開催した。HPの精査を行うことになった。たくさんの事例があるが、探しにくくなっている。文章の量が多いものとぱっと使えるものを分けたり、教科ごとに分けてみたり、そういったことに取り組むことを計画している。

・8月に、県立図書館とともに、探究・PBL関連の展示をする予定。ティーンズコーナーの半分を使い、活用研の紹介や図書館と授業とのかかわりかたの事例を掲示する。

(7) 岡山県立図書館より

◆R8合同研修会会場について

・現段階では4月は県立図書館、12月は未定ということで了解した。会場を押さえるのはおよそ6カ月前であるため、4月開催の場合は9月末を目途に日にちを決める必要がある。

◆県立図書館アンケート

・そのほか意見があれば早めに図書館協力班まで。

・現在、次期中期サービス目標を策定中である。意見を出してほしい。

◆学校セット整理

・500セットとなり、多すぎて分かりにくくなっているので整理をしたい。学校図書館からも任意でなく担当として、かかわってもらえないか。

・現在の運用では、セットとして組まれているものは除籍対象にならない。セットごと解体または差し替えして単扱いになった本は受入後15年経過したら除籍対象となる。この運用も見直しが必要と考えられる。

◆システム更新

・搬送便の手順等も大きく変わる予定なので、新システム説明会を予定している。学校セットの整理の相談もあわせてできたらよいので、検討する。詳しい日程等は未定。

(8) その他

◆R8 第2回合同研修会会場

- ・学校で開催するか、県立図書館にするか検討する。6カ月前も目途に決定する。

◆初任者が合同研修（研修B）への参加をしにくい → 同時刻に基礎的な講座を実施するか？

- ・県立図書館が担当してくださるという話もあった（この場合、研修班の新たな負担はない）が、学校図書館の研修（の一部）を県立図書館に丸投げすることに抵抗がある学校司書もいる。
- ・研修Bにも参加してみたかった、という声は出るとされる。敢えて分けなくてもよいのではないかと声が多かった。

◆おかやま文学フェスについて

- ・秋と春に開催。参加についての相談などは今年度については県立図書館図書館協力班（特に役員などではないがミーティングに参加しているので連絡役は可能）。例年、図書館関係の展示を行っていた文芸小学校の会場は、今年は表町商店街と城下地下広場となる予定。（掲示用の壁面はないため、展示については昨年までの形とは変更になる見込み。）

公務としての参加はできないので、でーれーBOOKSの参加はしない。高校に呼びかけるかは保留。

3 連絡

◆美作支部の県SLA司書部会理事について

- ・これまでの理事2人 → 8月からは津山工業高校1人になる

4 閉会

※第3回合同研修会は12月4日（木）倉敷商業高等学校にて開催予定